

日本パーソナリティ心理学会第 88 回常任理事会議事録

日時：2008 年 10 月 18 日（土）15：00～17：30

場所：東洋大学 6 号館 4 階 6403 教室

出席：杉山、浮谷、渡邊、北村、小塩、首藤

欠席：松田、藤田、菅原、川野、中村、荒川

大会主催校：坂元

事務局：加藤

報告事項および審議事項

1 各種委員会報告

機関誌編集委員会（渡邊委員長）

(1) 編集委員会の開催状況

前回の常任理事会以降、常任編集委員会は開催していない。第 17 巻 2 号の掲載論文決定のため常任編集委員会を実施する予定である。第 17 回大会期間中に拡大編集委員会を開催する。

(2) 「パーソナリティ研究」第 17 巻 1 号の印刷状況について

印刷を完了し、会員へ発送中された。掲載論文は 14 本（原著 6、資料 2、ショートレポート 5、依頼論文 1）である。

(3) 投稿状況について

10 月 15 日時点の投稿状況は、原著 33、資料 9、ショートレポート 21、展望 2 の合計 63 である。投稿状況は順調である、と報告された。

(4) 「パーソナリティ研究」第 17 巻 2 号以降の編集状況について

① 審査状況

10 月 15 日現在、採択 32、修正再審査 100、不採択 14、取り下げ 8 である。

② 採択済論文

現在採択済論文が 13 本（原著 7、資料 1、ショートレポート 5）あり、うち 11 本の採取原稿が揃っている。

審査番号	種別	題目
A-168E	原著	希死念慮者へのメッセージにみる、自殺予防に対する医師の説明モデル
S-122E	ショートレポート	抑うつ者に見られる思考抑制時の認知資源の不均等な配分
B-37E	資料	刑事事件の判例における「性格」の使用の実際
A-172E	原著	日常ストレスが抑うつ傾向に及ぼす影響と自己価値の役割についての縦断研究
A-183E	原著	恋愛関係が大学生に及ぼす影響と、交際期間、関係認知との関連
S-118	ショートレポート	Kretschmer の気質タイプとJungの心理学的タイプ
A-173E	原著	愛着機能尺度(Attachment Function Scale)作成の試み
S-126E	ショートレポート	自我漏洩感の体験率における個人差を説明するパーソナリティ要因の検討
A-179E	原著	女子青年における進路選択時の親子間コミュニケーションとアイデンティティとの関連
A-187E	原著	社会的比較が学業成績に影響を及ぼす因果プロセスの検討ー感情と行動を媒介にしてー
A-157E	原著	日本語版パラノイア・チェックリストの因子構造および妥当性の検討
S-129E	ショートレポート	高校生の友人関係における問題と主張性との関連
S-128E	ショートレポート	児童用多次元共感性尺度の信頼性・妥当性の検討

(6) その他

①次期編集委員の依頼状況について

次期編集委員の候補者リスト（20名）を作成し、現在順次依頼を進めている。

10月中旬に確定し、拡大編集委員会で新旧委員の顔合わせを行うとともに、会員総会での承認を得たい、との報告があった。

②校閲謝金の値上げについて

前回の常任理事会の承認に基づき、「パーソナリティ研究」の英文校閲、初校校閲の謝金を値上げした。

③科学研究費補助金の申請

現在、補助金の申請のための書類を作成している。

経常的研究交流委員会（北村担当常任理事）

(1) 第17回大の企画について

①「医療心理学におけるパーソナリティ（仮題）」企画担当は小林知博（神戸女学院大学）を企画している。

内容をあらわすサブタイトルが必要ではないか（理事長）。

話題提供が全員、非会員である企画は考えるべきだと思う（理事長）。

②教育における「個人と集団」企画担当加藤弘道（静岡大学）を企画している。

(2) 合同会議

近々、合同会議の開催を予定している。

(3) シンポジウム企画

秋あるいは冬に、シンポジウムを企画している。

広報委員会

以下のような資料が提出された。

(1) ウェブの更新

ウェブを更新した。

(2) ヤング・サイキリスト・プログラム

(3) 社会的貢献について

社会貢献ページの充実を前回いただいた課題としていただきました。委員会内で検討した結果、下記の企画のどちらかを大会終了後、今年度中に開始したいと考えております。テーマの設定方法については2つの案が提案された。

①企画名：パーソナリティ心理学と社会

理事の方に交代で、社会問題や一般の方が関心を持たれるトピックについてエッセイを書いていただいて隔月に掲載する。

(4) データベースへのリンクについて

「国立国会図書館データベース・ナビゲーション・サービス」に、本学会の図書紹介をリンクしたいとの申し出があった。申し出は承認された。

国際交流委員会（小塩委員長）

(1) ARP ニュースレター

Association for Research in Personality (ARP) のweb ニュースレター, “P: The Online Newsletter for Personality Science”の第3号が発行された。ホームページは以下の通りである。

(<http://www.personality-arp.org/newsletter03/contents.html>)

(2) 依頼論文について

Gosling 氏の依頼論文“Animal Personality”が、パーソナリティ研究第17巻第1号に掲載された。

(3) 次年度計画について

現在計画中である、という報告がなされた。Association of Research in Personality (ARP) のカンファレンスと、The International Society for the Study of Individual Differences(ISSID)のカンファレンスが開催されるため、日本の研究者にも参加を呼びかけてはどうか、という案を考えている、との報告がなされた。

(2) 選挙規程委員会（浮谷担当常任理事）

学会事務局に対して意見がなかったため、提案通り、総会に提出することが提案された。

名誉会員に関する規定は、しばらくの間、現行通りがいいのではとの提案がなされ、承認された。

(3) 大会活性化委員会

第一次審査が終了し、第二次候補者 20 件が報告された。

2 2007 年度決算・2008 年度予算

振込手数料の修正を加え、最終的に承認された。

3 日本心理学諸学会連合（理事長）

諸学会連合の会合はなく、特に、報告事項はない。

4 臨床発達心理士関係

(1) 認定運営機構（理事長）

認定運営機構脱退について、理事長から、再度連絡がなされた。

(2) 資格認定委員会

特に報告なし。

5 第 17 回大会の準備状況等について（坂元大会準備委員長）

第 17 大会のプログラムが配布された。懇親会の打ち合わせ、総会の打ち合わせなどが行われた。また、講演、シンポジウムなどについての説明がなされた。

6 事務局報告（加藤事務局長）

(1) 新入会審査（承認事項）

151071、151072、151073、151074、151075 以上 5 名が承認された。

(2) 新入会会員（報告事項）

一般会員 11 名、院生会員 11 名 計 21 名

(3) 会勢報告（報告事項）

賛助会員 1 名、名誉会員 5 名、一般会員 546 名、院生会員 268 名、学生会員 2 名
計 822 名

(4) 転載依頼について（報告事項）

①金子書房

「なぜ人は他者が気になるのか」永房典之（編）

性格心理学研究第 11 巻 小島弥生ほか「賞賛獲得欲求・拒否回避欲求尺度作成の試み」

性格心理学研究第 11 巻 西村洋一「コミュニケーション時の不安状態および不安傾向における比較」

②川島書店

「社会的つながりの心理学」菊池章夫（著）
ニューズレターNo.25 菊池章夫「Kiss-18 あれこれ」

(5) その他

①決算報告の公開（協議事項）

会員から、報告書を送ってほしいという依頼が複数あるため、HPあるいは会員MLで流すことはできないか、検討していただきたい。できれば、どちらかの手段で連絡することを承認していただきたい。

HPで公開することで承認された。

7 その他

次々回の常任理事会は、1月31日東洋大学 15:00 から
あるいは2月7日東洋大学 15:00 から